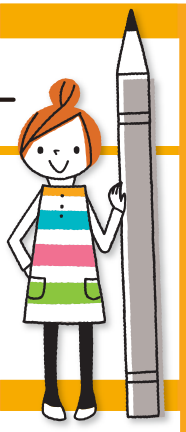
リノチョイス
Reno*choice

R-04　摩耗した敷居を樹脂製敷居で美しくカバー

# 敷居カバー工法



施工前

ふすまがガタガタする
見た目がきたない…

老朽化して磨り減り、
滑りも悪くなった敷居

施工後

既存敷居を交換せず表面を削り、樹脂製のカバーを取付けます。
天然木のような仕上がりで和室にも洋室にもフィットします。

※写真はフローリング工事も行っております。

| | |
|---|---|
| ポイント | 長年の使用で摩耗した襖や障子の敷居を撤去することなく、樹脂製の敷居でカバーする工法です。 |
| ポイント | 既存の敷居の樋端（ひばた）を削り、敷居カバーを固定し、敷居機能を復活します。 |
| ポイント | 設置箇所に合わせて7種類の形状をご用意 |

リノチョイス
Reno*choice

R-04

摩耗した敷居を樹脂製敷居で美しくカバー

# 敷居カバー工法

## ●リノチョイスとは?

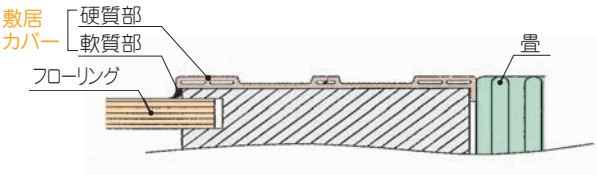
リノチョイスは、昭和30～50年代に建設された団地、マンション、社宅などに向けた、様々な修繕部材、工法、専用工具の総称ブランド名です。私達JSは、UR都市機構と共に50余年、団地の修繕や管理に従事するとともに、古い集合住宅にお住いのお客様の視点に立ち、”集合住宅の改良・改善に必要だが世の中にないものは自ら作る”をモットーに、リノチョイスの商品群を開発してまいりました。

**敷居カバー工法はUR賃貸住宅や分譲住宅等のリニューアル工事で多数の採用実績があります。**

## ●構成・仕様について

### 敷居カバー模式図

敷居カバー材は、「硬質」塩化ビニル樹脂と「軟質」塩化ビニル樹脂を組み合わせた押し出し成型品です。




### カラーラインナップ

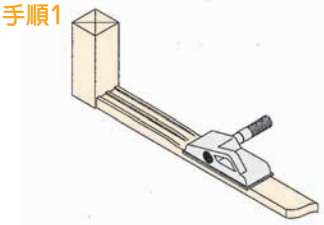
木目調

ホワイト
（一部オプション※）

※カラーのホワイトは、❸２本溝用（W85㎜／ L3.70m）、❹２本溝押入用、目地材以外は受注品となります。

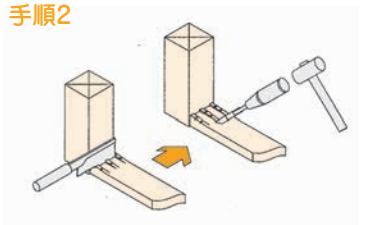
## ●施工手順について

### 手順1



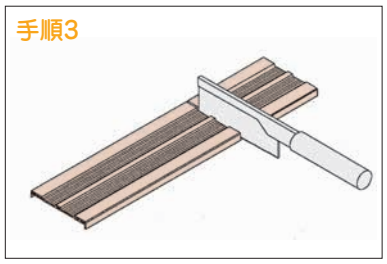
既存敷居を電動カンナ（集塵機付）によりヒバタ(溝)を削り落とす。

### 手順2



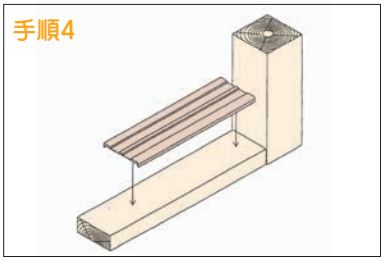
両端部はノコギリで切り込みを入れ、ノミによりで平滑に仕上げる。

### 手順3



敷居カバー材を所定の長さに切断し、カバー材裏面に両面テープを貼り付ける。

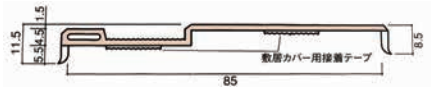
### 手順4



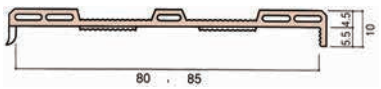
一方から順次、手で押付けるように敷居カバー材を貼り付ける。さらに、上から体重をかけながら充分圧着する。

## 材種は以下に示す7種類です

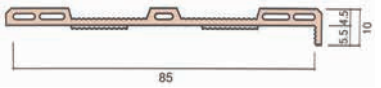
❶ 1本溝用（W=85㎜）



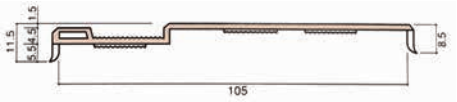

❷ ❸ 2本溝用（W=80、85㎜）



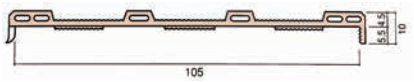

❹ 2本溝/押入れ用(W=85㎜)



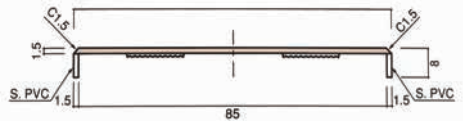

❺ 1本溝用（W=105㎜）




❻ 3本溝用(W=105㎜)




❼ 無目カバー(W=85㎜)




### 目地材

溝に貼り付けることで、溝本数を減らすことができます。

**注意**

●仕様は予告なく変更することがあります。
●写真は設置例であり、現場に合わせて施工するため写真の仕上がりと異なる場合があります。また、印刷のため色調は多少異なります。


JS 日本総合住生活株式会社

お問い合せ先　リノチョイスの特設サイトをいますぐクリック!
https://premium.ipros.jp/js-net